

各 位

2019年12月10日

会社名 株式会社だいこう証券ビジネス
代表者名 代表取締役社長 御園生 悦夫
(コード：8692 東証第一部)
問合せ先 執行役員総合企画部長 大矢 光一
(電話番号 03-5665-3137)

「証券コンソーシアム KYC 共通化ワーキンググループ」の活動成果のご報告 ～ホワイトペーパーの公表～

当社は、証券および証券関連業界が一丸となり設立された「証券コンソーシアム」の活動の一環である「KYC 共通化ワーキンググループ」に参加し活動してまいりました。この度、活動成果についてご報告すると共に成果物であるホワイトペーパーを下記の通り公表いたします。

「KYC 共通化ワーキンググループ」（以下、本 WG という）は、楽天証券株式会社がリーダー企業となり、2018年8月より発足いたしました。

当初は、①取引開始時の KYC 共通化を初期スコープとし、口座開設における KYC 業務の共通化を検討する「本人確認プロジェクト」と、②オンライン取引時の本人認証の共通化を検討する「本人認証プロジェクト」の2つのプロジェクトを立ち上げ、検討を進めてまいりました。

さらに、2019年秋に FATF（Financial Action Task Force；金融活動作業部会）の第4次対日相互審査が予定されていたことも受け、各社の関心が高い事項として2019年4月からは AML/CFT（Anti-Money Laundering and Countering the Financing of Terrorism；マネー・ローンダリング及びテロ資金供与対策）についても検討の対象とし、③AML/CFT 態勢の高度化を実現する業界共通的なサービスの在り方について検討を進めてまいりました。

この度、活動の成果物として「証券業界における AML/CFT 水準の向上および共通化・高度化に関するホワイトペーパー」（以下、ホワイトペーパーという）を公表することといたしました。ホワイトペーパーでは、AML/CFT 態勢の共通的な考え方と、これを満たすためのシステム要件、システム共同化や顧客データ集約を行う場合の論点整理を記載しているほか、「本人確認プロジェクト」および「本人認証プロジェクト」の活動成果についても取り纏めております。

本 WG の活動は、この度の活動成果のご報告とホワイトペーパーの公表により終了となります。当社は、今回の活動にとどまることなく、顧客管理の高度化による安全・安心なサービス利用の推進に努めてまいります。

【関連資料】

証券業界における AML/CFT 水準の向上および共通化・高度化に関するホワイトペーパー

■別紙 参加企業一覧（五十音順 敬称略）

au カブコム証券株式会社	日本電子計算株式会社
株式会社 SBI 証券	マネックス証券株式会社
セコムトラストシステムズ株式会社	みずほ証券株式会社
株式会社だいこう証券ビジネス	楽天証券株式会社
日本電気株式会社	他 28 社

以上